

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

327

研究開発の過程で生物学的性(セックス)や社会・文化的性(ジェンダー)を考慮する「ジェンダード・イノベーション」への注目が広がっている。一方、海外と比較すると日本では検討が始まったばかりであり、研究者への支援の充実が求められる。

ジェンダード・イノベーション・浸透を支援

来は主にオスのマウスための政策の検討も進んでいる。第7期科学技術・イノベーション基本計画(2026)をはじめ、日次課題は、研究者を意味しているのか、本の中長期的な基本計画を支援するための具体的な指針など策定

「性」という言葉にはセックスとジェンダーの両方の意味が込められているため、どちらを意味しているのか、本の中長期的な基本計画を支援するための具体的な指針など策定



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー(STI基盤ユニット) 杉本 光衣

東京大学大学院総合文化研究科修士修了。同大学院の博士課程に在籍しながら、24年から現職。科学技術・イノベーション政策の調査と戦略立案を担当。

国際的な研究コミュニティと、欧州科学編集者協会などの学術団体や、カナダ保健健康機構やドイツ研究振興協会などが、独自の指針や教材を提供している。例えば資金配分機関は、応募者や評価者がセックスやジェンダーを考慮しやすいよう、それぞれの助成対象分野で考慮が必要な事項を取りまとめるなど、手厚い支援を行っている。

指針や教材を提供する資金配分機関の事例		
資金配分機関	助成対象分野	詳細
カナダ保健健康機構	保健・医療	ヘルス研究でセックスやジェンダーを考慮するための指針や教材を提供
カナダ自然科学・工学機構	自然科学・工学	公平性・多様性・包摂性(EDI)を研究に統合するためのガイドラインを提供。「研究プロセスにおけるEDIの考慮」と「研究チームにおけるEDIの考慮」の双方を考慮する
Horizon Europe (EU)	全分野	幅広い分野のケーススタディーや、全分野共通のセックスやジェンダーの考慮方法を提供
ドイツ研究振興協会	全分野	全分野を対象としたチェックリストを提供。特に、ヒト・動物が関わる研究において考慮することを推奨している

出典：JST 戦略プロポーザル「セックスとジェンダーを考慮した研究開発・イノベーションの推進—ジェンダード・イノベーションの実現に向けて—」 <https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2025-SP-03.html>より一部加工

現在の日本は、ジェンダード・イノベーションの考え方をより広く浸透させていく段階といえる。事例の収集や日本語に対応した用語の整理、周知などを含め、研究者を支援する具体的な方策が望まれる。(金曜日掲載)